

山口県大島防災センターだより

山口県大島防災センター 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5066-5 TEL.0820-79-1133

第30号
平成26年11月

地震は、ある日突然起こります。地震災害にあってから、どう行動していいか考えるのでは判断や行動が遅くなってしまいます。その時に備えて自分や家族を守るために、日頃から災害時の対応を確認しておきましょう。

地震が発生！その時にすべきこと

自宅の場合

とにかく身を守る！

地震が起き”グラッ”と揺れたら、まずは丈夫な机などの下にもぐって落下物や倒れてくる家具などから身を守りましょう。揺れている時の移動はとても危険です。揺れがおさまるまで、身の安全を確保しましょう。



☞揺れがおさまったら

- * 火の始末、ガスの元栓を閉める。
- * 瓦や看板、ガラスなどが上から落ちてくる場合があるので、あわてて外に飛び出さない。
- * 地震で家が歪み、ドアや窓が開かなくなる場合があるので、扉を開けて出口を確保する。
- * 家族の安全を確認する。離れている場合は、電話はつながりにくくなるため、「災害伝言ダイヤル 171（固定電話）」「災害用伝言掲示板（携帯電話）」などを活用し連絡を取る。
- * テレビ、ラジオなどで正確な情報を集め、いつでも避難できるようにしておく。
- * 自宅から避難場所に避難する場合は、ブレーカーを切っておく。（通電火災予防）



外出先の場合

外にいた時

ガラスや看板・瓦などの落下物、ブロック塀や自動販売機の転倒に注意。手荷物で頭を守り、広場などへ避難しましょう。



車の運転中

急ブレーキは危険なので、徐々にスピードを落とし、道路の左側に寄せる。揺れがおさまるまで車内で待機し、ラジオなどで情報の確認をする。車を離れる時はドアをロックせずに鍵はつけたままにしておきましょう。



バスや電車の中

上部の網棚などからの落下物に注意して、つり革や手すりにつかまってバスや電車の停車を待ちます。勝手に降車せず、係員の指示に従いましょう。



エレベーターの中

すべてのボタンを押して、停止した階で降りましょう。閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターホンで外部に連絡を取りましょう。



地下街にいた時

壁や太い柱に身を寄せて、揺れがおさまるまで待ちます。火災が発生したら、ハンカチなどで鼻と口をおおい、壁づたいに体を低くして地上に避難。出口は60mごとにあります。



9月、10月 見学団体

出前講座

来館者紹介

宇部市恩田まちづくりサークル
コープやまぐち柳井大島地区会員
下松市サロンイン松中
山口市陶地区民生委員児童委員協議会
周南市鹿野相生老人クラブ
尾道第12区民生児童委員
小郡地域づくり協議会
宇部市原校区福祉委員協議会
久美保育所
高知県仁淀川町民生児童委員協議会
下松市保健推進委員連絡会
橘地区自治会長

久保河内自治会（久賀）
周防大島町防災訓練（大島）
島中小学校避難訓練（橘）
椋野大元サロン（久賀）
三ツ松自治会（橘）
小泊地区避難訓練（東和）



の方々が来館されました。